

コロナ禍が生み出した新たな学校の姿

児童会の自主活動で校舎内の朝のモップがけ清掃が行われています。子どもたちは築50年を迎える校舎を大切に使っています。



数多くの卒業生を送り出してきた学び舎。廊下や壁にひびがあったり、壁の塗装が剥がれていたりするところもあります。そんな校舎が愛おしい…児童の「ひと・もの・こと」を大切に扱う心が、築50年の校舎の廊下を輝かせています。

※ 5月20日(木)には児童総会が50年前に設置されたTV放送設備を使って行われます。

GIGAスクール構想・・・一人一台端末時代の「朝の活動」

・・・新設した「パソコン・タイム」を使って、キーボード・タッチの練習中・・・

石板と蠟石、そろばんに鉛筆、電卓にカラーマーカー。時代は進化し、令和の時代は一人一台端末！新たな文房具として児童数分の端末が導入されました。「まずは使ってみよう」「キーボードに慣れよう」ということで、「朝の活動」時間帯の15分間を週に三日ほど「パソコン・タイム」として週日課に位置付けました。鉛筆同様、コンピュータでも文字も絵も描けるのですが、電気がないと(充電されていないと)動かないのが難点です。



〈コンピュータ使用時の留意点〉

良い姿勢を保つ。目を画面から30cm以上離して使う。時折、画面から目を離して遠くを見る。

爪先まで美の探求。6月2日 連学年体育学習発表会を予定しています。



今年も地域のご来賓の皆様や、来入児をお招きしての全校での運動会開催は見合わせ、コロナ禍における日常の体育学習の成果を保護者の皆様に披露する**連学年体育学習発表会**を行います。どの学年も「**新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式**」最新版（Ver 6）のガイドラインに則り、体育の学習を実践しています。5、6年では感染症対策のため人と人が密接に組み合って身体表現する組体操は控え、十分な間隔をとって、一人一人が身体表現を行います。

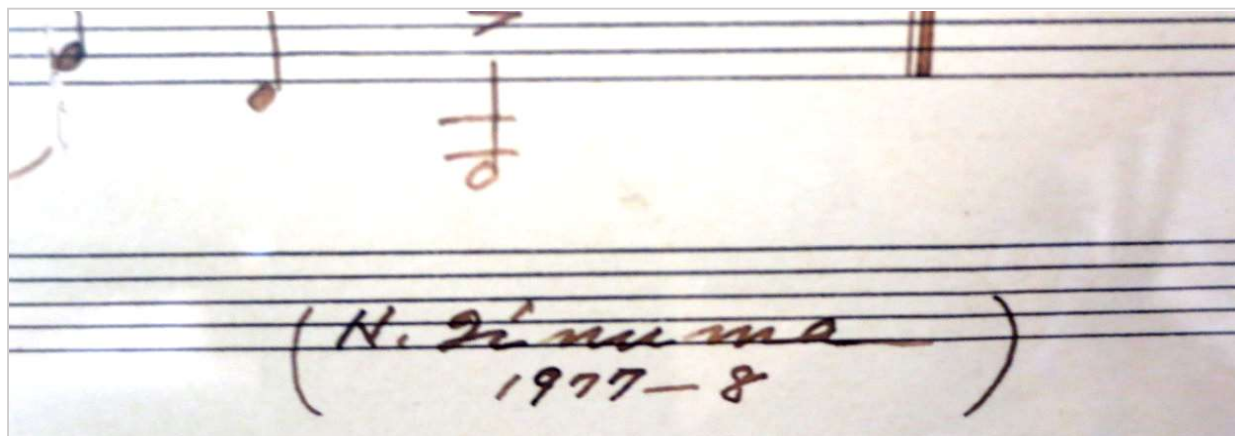
※体育の授業においては、運動時は、身体へのリスクを考慮して、マスクの着用は必要ないとされています。十分な身体的距離が取れない状況で、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクがない場合にはマスク着用の必要性があるとされています。

治田小学校 開校 50 周年。50 歳おめでとう ∞ 50 年ありがとう。 50 周年にちなみ 50 年前のことを調べてみました。①

校長講話で 50 年前の出来事に触れた話をすると思い、いろいろ調査確認をした中で発見したことをご紹介します。

本校の校歌の作詞者が詩人の「まど・みちお」さんであることは、時折紹介してきましたが、ここでは作曲者について紹介します。作曲者の飯沼信義（いぬま のぶよし）氏は、桐朋学園大学名誉教授として音楽教育に携わるとともに、作曲家としても作品を創作し続けておられる現役の教育者であり芸術家です。飯沼先生直筆の校歌楽譜が校長室に掲額保管されています。

「治田小学校 校歌」は、形式統合から 6 年目の 1977 年（昭和 52 年）11 月に制定（統合記念事業完成 記念式典）されています。新しい学校の新しい校歌として、児童、保護者、関係者全員が切望していたものでした。



オリジナルの楽譜をよく見ると、(N. Inuma 1977-8) と直筆署名が書き込まれています。校歌としてお披露目される 3 か月前に完成していたことがわかります。